

「ていねいに」と「いいかげんに」

「勉強ができるようになる」には、日頃の学習量や継続した努力、意欲や関心などなど、いろいろな要因がありますね。

もちろん、忘れてはいけない基本的なこともあります。
それは「ていねいに」ということ。

例えば、字を「ていねいに」書く。
誤字を「ていねいに」消す。
教科書を「ていねいに」扱う。
ノートを「ていねいに」取る。
などなど。

反対に上の表現、「ていねいに」を「いいかげんに」に変えてみましょうか。

字を「いいかげんに」書く。
誤字を「いいかげんに」消す。
教科書を「いいかげんに」扱う。
ノートを「いいかげんに」取る。

うわ、これでは「勉強ができるようになる」ことはありませんね。

「勉強をやっても、なかなか思うようにできない」人は、
もう一度「いいかげんに」なっているところがないか、チェックしてみてください。